

令和6年度「研修マネジメント力協働開発プログラム(近畿版)」実施要項

1 目 的

中央教育審議会答申（令和4年12月29日）は、子供たちの学び（授業観・学習観）の転換のためには、教師自身の学び（研修観）の転換を図る必要があると提言しています。

「研修観の転換」は、NITSの職員を含め、全国の研修担当者の学びについての「観」が、広がったり変わったりする営みであり、研修担当者が、これまでと異なる研修の在り方に取り組み、その経験から得られた「気づき」を共有し、学び合い、支え合う中で、徐々に展開していくものだと考えています。

そのような発想のもと、NITSにおいては、この「研修観の転換」に向けた「学び合いのコミュニティ」が、教職員研修を実施している各地の組織（教育センター、教職大学院、学校等）の中で形成され、つながっていくことで、共創分散型の「学び合いのコミュニティ」が全国に形作られていくことを目指しています。

NITSフェローは、各地で教職員研修のデザインについて継続的に学び合う場を設けることなどを通じて、「教職員の学び」に関する「学び合いのコミュニティ」の醸成を後押しすることを任務としています。研修マネジメント力協働開発プログラム(近畿版)（「マネプロ(近畿版)」）は、このような「学び合いのコミュニティ」の醸成や、それを通じた教職員研修の持続的な深まりに資するよう、近畿地域の研修担当者が、「教職員の学び」の在り方を協働的に問い、考え合う機会を提供するものです。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 協 力 立命館大学大学院教職研究科、NITS立命館大学センター

4 開催場所 立命館大学朱雀キャンパス〔〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1〕（対面）
自宅、勤務地等（Zoomによるオンライン）

5 日 時 令和7年2月28日（金）
前半 9:30～12:30
後半 15:15～17:00
（※希望者向けに、13:30～15:00の間、追加的な相互交流の機会を用意）

6 実施方法 ハイフレックス(対面とオンラインの同時併用)形式

7 標準定員 対面 100名 オンライン 120名程度（※応募状況により、増やす可能性あり）

8 参加者

(1) 参加資格

以下の者

ア 近畿地域(滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県)における各教育委員会及び教育センターの研修担当主事等、教職大学院関係者等

イ 近畿地域(滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県)における幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校の研修主任等

(2) 参加者の決定

標準定員を踏まえ、参加者数を調整する。

9 研修内容（予定）

9:00	9:30	9:40	12:30	13:30	15:00	15:15	16:45	17:00
受付	イントロダクション	前半 グループセッション(内省・対話) これまでの経験を振り返り、新たな教職員の学びを探る	昼休憩	交流プログラム	休憩	後半 グループセッション これからの展開を探る	諸連絡	

10 申込手続・申込期限

申込期限は、令和7年2月6日(木)とする。

以下のGoogle Formsにより申込みを行う。

Google Forms URL : <https://forms.gle/q9mW9BJQ63CHELEq8>

11 事前課題

参加者決定時に別途連絡する。

12 その他

(1) 本研修は、「5 日時」に示す通り、2部構成で行い、2つの部の間には時間が空いている。これは、近畿地域における教育センターの関係者が多く参加する、令和6年度近畿地区教育研究（修）所連盟第2回所長会が同日に開催されるところ、その時間帯を避けることで、より多くの者が参加できるよう設定したためである。

なお、当日13:30～15:00の間、研修本体と別途、希望者向けに、追加的な相互交流の機会を設けることを予定している。

(2) 本研修は、NITSが、NITSの地域センター（NITS立命館大学センター）、及び、令和6年12月に委嘱したNITSフェロー（近畿地域：東、清川、澤田）（別紙参照）とともに、開催する。

(3) 本研修プログラムの参加に際し、特別な配慮(障害、持病等による)が必要な場合には、事前に教職員支援機構に相談すること。

(4) 本研修プログラムは、令和6年度～7年度にかけて3回程度実施し、各回で参加者を募集する(継続参加も可)。